探究活動ガイダンス　午後のショートガイドについて

探究活動ガイダンスの午後、より深く霊長類について学び、探究活動について知るために、日本モンキーセンターや京都大学霊長類研究所のスタッフがいろいろな場所でショートガイドを実施いたします。以下にショートガイドの時間と内容について載せました。（D）と（G）は京都大学霊長類研究所の外国人研究者による解説です。平易な英語で説明いただきますので、ぜひ挑戦してください。

●実施時間（1回15分　ガイド10分＋質疑応答5分）

**（1）12:50～13:05　（2）13:10～13:25　（3）13:30～13:45　（4）13:50～14:05**

●ガイド場所：17カ所（場所の番号は、裏面の園内マップに対応）

**（Ａ）「遠くて近い隣人・テナガザル」**

担当：綿貫宏史朗（JMC・PRI）　　場所：ギボンハウス（マップ⑫）

内容：テナガザルはただの「手の長いサル」ではありません。わたしたちヒトに近縁の類人猿のなかまです。“歌”をうたい“家族”で暮らすテナガザルと、自分自身を重ねて見てみませんか。

**（Ｂ）「上を向いて歩こう ～森の中でサルを探す。調べる。～」**

担当：早川卓志（JMC・PRI）　　場所：リスザルの島（マップ⑪モンキースクランブル）

内容：霊長類は基本的に樹上性の生き物です。「リスザルの島」で、樹々の上を縦横無尽に活動するリスザルを観察しながら、熱帯雨林に暮らす霊長類の生態を研究する方法を伝授します。

**（Ｃ）「ヤクニホンザル群で観察された特徴的な行動」**

担当：山田将也（JMC）　　場所：モンキーバレイ（マップ⑩）

内容：JMCでは60年前からヤクニホンザルを飼育管理しています。現在、JMCのヤクニホンザル群の中で野生下では見られない様々な特徴的な行動が観察されています。彼らが日常的に行っている様々な特徴的な行動がどういうものか紹介します。

**（Ｄ）「Who are the Japanese macaques?」**

担当：Sayuri Takeshita（PRI）※英語トーク　　場所：モンキーバレイ（マップ⑩）

内容：Japanese macaques, also known as snow monkeys, are the only primate species found in Japan. Do you know how long they live? What do they eat? In this talk you can learn a few things about their habitat, their diet and their life history.

**（Ｅ）「ヒヒの城から見る、アヌビスヒヒの世界」**

担当：荒木謙太（JMC）　　場所：ヒヒの城（マップ⑨）

内容：アフリカで野生のヒヒを観察した飼育スタッフが、ヒヒの城で暮らす80頭のアヌビスヒヒの個体を識別する方法を紹介します。

**（Ｆ）「ヘビにも足がある？蛇足の話」**

担当：大渕希郷（JMC・WRC）　　場所：KIDSZOO（マップ⑬）

内容：ヘビは足がない動物だと思い込んでいませんか？　動物観察は、先入観を捨ててからはじめることが大切です。ヘビをはじめ、KIDSZOOのいろんな動物を観察してみましょう。

**（Ｇ）「Not just a walking stone - tortoises are cleverer than you think!」**

担当：Anna Wilkinson（リンカーン大学・PRI）※英語トーク　　場所：KIDSZOO（マップ⑬）

内容：Tortoises have long been thought to be sluggish and inert（のろまでぐず）. But if you test them in the right way, they are very smart. Tortoises use cues from other tortoises and can even learn how to access a reward from watching each other. They can learn to use a touchscreen and can remember things for over a year. They yawn a lot, but they do not yawn contagiously, which is interesting because this is thought to require empathy. Tortoises do show emotions, but they do not necessarily understand the emotion of others.

**（Ｈ）「おさるの獣医師30年、疾患の多様化と実務」**

担当：木村直人（JMC・獣医師）　　場所：ビジターセンター（マップ①）・ホール

内容：サル類飼育種数世界一の動物園で、多くのサルをみてきました。疾患も診断方法も多様化する一方で、ロー・テクな手技も健在です。仲間と暮らしながら治療を受けているサルがいます。獣医の視点で、園内を歩いてみてください。

**（Ｉ）「個性のかたまり、野生のグエノン」**

担当：峠 明杜（PRI）　　場所：アフリカ館（マップ⑧）

内容：グエノンはアフリカに生息するサルの仲間。野生では、別種なのに一緒に遊んだり、チンパンジーに食べられたり......。アフリカで3種のグエノンを比較研究している私が、グエノンの個性や野生の姿についてお話します。

**（Ｊ）「アジアのサル：形の秘密をさぐる」**

担当：新宅勇太（JMC・WRC）　　場所：アジア館（マップ④）

内容：アジアにくらすサルの仲間、見た目だけでなく、食べ物など”生き方”も様々です。”生き方"の違いがサルの形の違いとどう関連しているのか、頭骨の実物標本と生きているサル、両方を観察して探ってみましょう！

**（Ｋ）「これでもサル！？小さなサルの大きな魅力」**

担当：赤見理恵（JMC）　　場所：南米館（マップ③）ホール入り口前

内容：タマリンやマーモセットなど小型のサルを目の前で観察します。彼らの特徴がわかったら、野生の姿をイメージしましょう！キュレーターが見てきた野生の姿や保全の取り組みについてもお話します。

**（Ｌ）「身体障害があるサルたちの幸せを考える」**

担当：櫻庭陽子（PRI）　　場所：南米館（マップ③）屋外・フサオマキザルの前

内容：モンキーセンターには身体障害という個性をもったサルたちもたくさん暮らしています。彼らと群れのメンバーの行動から、身体障害をもつサルたちに必要な環境を一緒に考えてみましょう。

**（Ｍ）「アマゾンの珍獣サキ：研究者の卵が語るマニアックなサルのお話」**

担当：武真祈子（PRI）　　場所：南米館（マップ③）屋外・シロガオサキの前

内容：ブラジルで野生のサルの調査をしている日本で一番「サキ」に詳しい（！？）大学院生が、その魅力を熱く語ります。調査中に撮った写真や映像も大公開。動物園で見られる姿と比べてみましょう。

**（Ｎ）「ワオキツネザルたちの暮らし ～野生と動物園の似ているところと違うところ～」**

担当：田中ちぐさ（JMC）　　場所：Waoランド（マップ⑤）

内容：ワオキツネザルがどんな特徴を持っているか、どんな風に暮らしているか、お話しします。動物園ならではの暮らしや研究活動もご紹介します。

**（Ｏ）「チンパンジーの群れから学ぶコミュニケーション力」**

担当：藤森 唯（JMC）　　場所：アフリカセンター（マップ⑥）・屋外放飼場（広い運動場）

内容：群れづくりを通して見えてきた、チンパンジーの豊かなコミュニケーション力と社会についてお話します。

**（Ｐ）「見てみてゴリラのナックルウォーク」**

担当：坂口真悟（JMC）　　場所：アフリカセンター（マップ⑥）・ニシローランドゴリラの前

内容：ゴリラの歩き方を観察して、手の使い方や力強さを紹介します。4月20日に44歳の誕生日を迎えたゴリラのタロウ。同じ歳の飼育スタッフがタロウの迫力と魅力を伝えます。

**（Ｑ）「ヤギのみぞ知る(Goat only knows)：ヤギを対象とした認知テスト」**

**※ガイド時間に関わりなく随時。見学希望者はKIDSZOO入り口で申し出ること。**

担当：友永雅己（PRI・JMC）　　場所：KIDSZOO（マップ⑬）

内容：京都大学霊長類研究所のチンパンジーたちが日々行っているタッチパネルを用いた認知テストを、KIDSZOOのスズさんをはじめとするヤギたちにも挑戦してもらいます。その成果は、ヤギのみぞ知る、Goat only knows。

※所属

JMC：日本モンキーセンター

PRI：京都大学霊長類研究所

WRC：京都大学野生動物研究センター